

明湖会運営費補助金の方向性について

委員名	方向性	理由など
大石委員	縮 小	
間淵委員	現状維持	他組織との調整なしに明湖会単体では是非を問えば、地域コミュニティ維持の観点から補助金は「現状維持」が適切と考える。将来的には、他組織との重複事業の調整、地域統合等により明湖会がやるべき事業を明確にし、補助金を縮小していく必要がある。
藤田委員	現状維持	地域の活性化、地域づくりの観点から、地域活動への補助は必要と考える。但し、自立の方向への指導は必要である。
白井委員	縮 小	段階的縮小。 全体的に予算が減少していることから、補助対象全体で減少させていくべきであると考えます。
金原委員	廃 止	委託及び委任業務の負担金または分担金以外はゼロベースで見直す必要があるため「廃止」
近藤委員	現状維持	有効利用出来ている所に関しては現状維持
辻岡委員	縮 小	当面は現状を維持し、行っている活動内容を見直した上で方向性を決めていく必要があると考えます。
澤木委員	縮 小	「明湖会運営費補助金について」の担当課回答欄には、補助金の終期にあたり、補助金算定方法の見直しを行い、本部並びに地域明湖会ともに補助金の減額を行う。また、その状況を見ながら、さらに見直しの検討を行うため、終期を1年後の平成32年3月31日とする。と記載があるように、基本的にはこの進め方で良いと思いますが、行財政改革審議会メンバーからの意見で参考になるものがあれば、ぜひ取り入れていただき、抜本的な見直しを図っていただきたいと思います。
鈴木委員	縮 小	今年度、各地域明湖会へのアンケートを実施するとあったので、その結果を踏まえるのが一番かと思われる。補助金の減額が実行されることや、課題も残るが、自治会でも明湖会の活動がカバーできることを考えると、明湖会のあり方を考え直すのも一案ではないかと思われる。

集 計

	拡 大	現状維持	縮 小	廃 止
事前調査	0	3	5	1
審 議 会				